

『LNG小規模基地設備指針』の改訂

1. 主旨

「LNG小規模基地設備指針」（以下、「小規模基地設備指針」と表記）は、LNG受入基地からローリー等の輸送方法によりLNGを受入れるLNG小規模基地の保安の向上を図ることを目的として、1991年に発行された。

その後2002、2006、2011、2017年に改訂され、2017年の4次改訂版（以下、「現行指針」と表記）の発行後5年が経過し、その間、技術の進展やガス工作物の技術基準等の引用法規の改正、JISをはじめとする規格類の改正等、取り巻く環境に変化が生じている。

今回、全体の内容を確認し、最新の各種基準の反映に加えて、新技術として「樹脂フィルム積層ホース」の導入などを行うことを目的として、改訂を行った。

2. 主な改訂内容

主な改訂項目は以下のとおり。

（1）法令や引用規格等の改正・改訂の反映

■ 解釈例、指針、その他引用規格類の改正内容と小規模基地設備指針との不整合を確認し、小規模基地設備指針へ反映した。

（2）新技術等の取り込み

■ 技術評価結果を踏まえ、LNG受入設備として樹脂フィルム積層ホースを導入した。

（3）記載内容の充実・実態に即した修正

■ ユーザーのための工場防爆設備ガイドを反映し、詳細な計算により危険箇所の範囲を縮小できるようにした。

（4）今後の効率的な指針運用のための、引用規格類の記載方法変更

■ 改訂作業効率化のため、引用規格・図書類の発行年を本文から削除し、引用規格・図書類の一覧を別添とした。

以上